

# 履修証明プログラム 募集要項

## (1) 履修証明プログラム制度について

大学等において、より積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できる制度です。なお、本プログラムは履修科目の単位が認定されるものではありません。単位の認定を希望する場合には、科目等履修生制度をご利用いただくか、本募集要項（7）をご参照ください。

## (2) 開講プログラム

- ★各コースとも、時間割重複のため、希望の科目が選択できない場合があります。
- ★各コースとも、「前期コース」は前期の科目から、「後期コース」は後期の科目から、それぞれ科目を選択してください。
- ★受講されたコースを修了できるよう学修に励んでください。受講状況が芳しくないとは判断された場合、当プログラムの受講継続が難しくなる場合があります。
- ★すべての授業の概要（シラバス）を以下のサイトでご覧いただけます。  
<https://cj-web.hakodate-u.ac.jp/campusweb/slbssrch.do>

### ●企業人養成コース（経営・法学系）

企業に勤務している方、あるいは勤務経験のある方を主な対象として、経営や法律に関する知識を学べるコースです。下記科目の中から任意の3科目を選択してください。

前期コース	後期コース
経営学総論	国際経営論
経営管理論	経営戦略論
経営史Ⅰ	経営組織論Ⅰ
金融論Ⅰ	経営史Ⅱ
民法Ⅰ	金融論Ⅱ
商法Ⅰ（令和6年度は開講せず）	民法Ⅱ
会社法Ⅰ（令和6年度は開講せず）	商法Ⅱ（令和6年度は開講せず）
経営情報システム論Ⅰ	会社法Ⅱ（令和6年度は開講せず）
	経営情報システム論Ⅱ

### ●企業人養成コース（マーケティング・経済系）

企業に勤務している方、あるいは勤務経験のある方を主な対象として、マーケティングや経済に関する知識を学べるコースです。下記科目の中から任意の3科目を選択してください。

前期コース	後期コース
流通論	マーケティング総論
広告論	マーケティング戦略論
国際マーケティング論	消費者行動論
ミクロ経済学Ⅰ	経済学Ⅰ
マクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ
国際経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ
産業構造論Ⅰ	国際経済学Ⅱ
	産業構造論Ⅱ

### ●簿記・会計コース

主に簿記・会計関連の専門知識の基礎を学び、知識を深めることを目的としたコースです。下記科目の中から任意の3科目を選択してください。

前期コース	後期コース
簿記原理Ⅰ	簿記原理Ⅱ
会計学総論Ⅰ	会計学総論Ⅱ
経営分析論Ⅰ※	経営分析論Ⅱ※
企業分析論Ⅰ※	企業分析論Ⅱ※
高等簿記Ⅰ	高等簿記Ⅱ
財務諸表論Ⅰ	財務諸表論Ⅱ
管理会計論Ⅰ	管理会計論Ⅱ
原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅱ

※印がある科目では、インターネットに無線で接続できるノートパソコンが必要です。詳細はお問合せください。

### ●語学コース（初級）

主に英語4技能を中心とした、語学の基礎を学べるコースです。下記科目の中から任意の3科目を選択してください。

前期コース	後期コース
英語リスニング入門a	英語リスニング入門b
英語ライティング入門b	英語ライティング入門a
英語スピーキング入門a	英語スピーキング入門b
英語リーディング入門b	英語リーディング入門a
英語リスニングⅠ	英語リスニングⅡ
英語ライティングⅠ	英語ライティングⅡ
英語スピーキングⅠ	英語スピーキングⅡ
英語リーディングⅠ	英語リーディングⅡ
中国語Ⅰ	中国語Ⅱ

年度によっては開講しない科目もあります。

### ●語学コース（中上級）

主に英語4技能を中心とした、語学学習に役立つ科目を選択できるコースです。下記科目の中から任意の3科目を選択してください。

前期コース	後期コース
英語リスニングⅢ	英語リスニングⅣ
英文法Ⅰ	英文法Ⅱ
英語スピーキングⅢ	英語スピーキングⅣ
英語リーディングⅢ	英語リーディングⅣ
グローバル・カルチャー・スタディーズⅠ	グローバル・カルチャー・スタディーズⅡ
ビジネス・イングリッシュⅠ	ビジネス・イングリッシュⅡ
中国語Ⅲ	中国語Ⅳ

年度によっては開講しない科目もあります。

### ●一般教養コース

様々な一般教養科目を学べるコースです。下記科目の中から任意の3科目を選択してください。

前期コース	後期コース
日本文学Ⅰ	日本文学Ⅱ
日本史概論	歴史
日本文化論Ⅰ	日本文化論Ⅱ（令和6年度は開講せず）
倫理学Ⅰ	倫理学Ⅱ
地理学Ⅰ	地理学Ⅱ
心理学Ⅰ	心理学Ⅱ

### (3) 定員

前期、後期ともに10名程度。

### (4) 出願資格と選考方法

令和5年4月1日において満22歳以上で、大学入学資格を有するもの。

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。〈参考：函館大学社会人選抜入学資格〉
- ④マイクロソフトOfficeやオンライン会議システム（Zoom）の操作など、基本的なパソコンスキルを有する者

※授業における講義連絡等は、主に学生Webシステムでなされ、授業によってはICTの操作が必要となる場合があるため。

出願書類により本学学内での面談および書類選考を行います。

### (5) 出願期間

前期：令和6年3月25日（月）～ 令和6年4月8日（月）

後期：令和6年9月2日（月）～ 令和5年9月17日（火）

### (6) 受講料

1コース：10,000 円（3 科目） ※教科書等については、別途費用が必要です。

### (7) 本科生へ入学する場合の単位認定について

履修証明プログラム修了後に、本学への入学（編入学を含む）を希望し、入学が決定した方は、修得科目を単位認定することが可能です。その他の理由にて単位認定を希望する場合はお問い合わせください。

### (8) 出願書類

- ・函館大学履修証明プログラム受講願書 1部
- ・最終学歴を証明できる書類（例：卒業証明書） 1部

#### 【注意事項】

1. 一旦提出した書類は、理由の如何にかかわらず一切返還しません。また、一度納入した受講料は、講義が開講されなかった場合を除き返金致しません。
2. 出願書類受付後であっても、出願資格及び出願書類に誤りや虚偽等があった場合は、出願を

取り消す場合があります。

3. 出願書類に不備がある場合は受付できませんので、くれぐれもご注意ください。
4. 本人から提出された入学手続書類等については個人情報として処理し、厳重に管理します。

## (9) 手続きの流れ

出願書類の作成 → 電話連絡後、本学事務局窓口を持参、面談の実施 → 入学選考  
→ 受講許可否通知

受講許可の通知を受けた者は、送付された「振込用紙」により、金融機関窓口から受講料をお振り込みください。後日、受講に関する説明及び手続きを行いますので、受講料の領収書をご持参ください。詳細は、個別に別途お知らせいたします。

### 連絡先

函館大学 学務課教務係

TEL : (0138) 57-1181 FAX : (0138) 57-0298